

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171200332		
法人名	有限会社 太陽		
事業所名	グループホーム ひまわりの郷		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字寄人1997-1		
自己評価作成日	平成29年11月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成30年1月30日	外部評価確定日	平成30年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

残存機能に注視しながら、地域のなかで環境をあまり変えることなく、その人らしさに重点を置いた介護の実践を目指しています。また、出来るだけ長く普通のパンツを着用できるように、時間誘導を徹底した介護を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

グループホームひまわりの郷は、周囲に田園が広がり、自然環境豊かな長閑な環境である。管理者はこの地域で生まれ育ち、小さい頃から地域住民から見守られ、育ててもらったという思いがある。その思いがそのままグループホームの運営に活かされ、地域との相互関係が自然に構築できているのが窺える。キャッチフレーズは「あなたのわがままを聞かせて下さい」とし、職員一人ひとりが、自分だったらどうしてもらいたいのか、自分の身に置き換えて考えケアをしている。利用者の思いを理解し、どうすれば実践につなげることができるか常に職員間で検討しサービスの向上を目指している。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ全員で理念の意義を共有し、毎朝の申し送り時に唱和して動機付けしています	理念は開設当初に掲げたものであるが、現在も大切にしており、職員が共有する時間を作っている。毎朝のミーティングで、理念に沿ったケアのありようを検討したり、ケアマネジャーは、ケアプラン作成時に職員と理念を振り返ることを心掛け、理念とケアプランの連動を意識している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	代表者も管理者も地域住民であり、日頃より地域との交流があり地域との連携が出来ている	管理者は地元の出身で、近隣住民とは利用者や職員共々、長年の馴染みの関係が構築されているのは事業所の利点と言える。近隣より野菜や漬物、花をいただいたり、来てもらった時には、お茶を飲みながら、世間話をするなど、利用者が地域住民と関わりを持ちながら普通に暮らす生活が実践されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設長が地域の住民であり、地域の会合や、行事に参加し、理解を深めています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	保険者、地域の区長、民生委員の参加などにて利用者の現況を報告し、意見の交換などにて、サービスの向上に努めています	運営推進会議には行政、地区の民生委員等の参加で開催している。事業所からは事業報告や現状報告が主であるが、報告に対しての質問や他の事業所の良いところ等も話してもらいサービスに活かしている。行政から献立や料理についての栄養面でのアドバイスがあり、役立っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への参加や、研修への参加、また、今年度は実地指導もあり、市町村担当者との連携が深くなったと思います	佐賀中部広域連合が主催する、多彩な研修に参加したり、ケアマネジャーのネットワーク会議へ出席しており、情報を得ることが多い。他の事業所の情報を聞くことは参考になり、質の向上につなげている。担当者へ介護保険に関する相談も気兼ねなくでき連携に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修にて身体拘束をしないケアを学び、スタッフ全員で理解、共有しています。また、開設当時より玄関の施錠は行っていません	県や佐賀中部広域連合の研修に参加し、事業所での報告会を行い全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解するよう努めている。常に身体拘束をしないケアを実践している。転落防止のためにベットの使用せず床にクッション性のあるマットを敷くなど、工夫もしている。日々のケアの中で、言葉による拘束については尊厳を守るケアの一環として指導している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修にて、学び、虐待しないケアを実践しています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修で学び理解していますが、現在までに利用した人はいません(対象者なし)		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に管理者が本人様及びご家族様に説明を行い、理解していただき、納得の上、契約をしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の利用料の入金時や日々の面会時に意見を交換する機会を設け、玄関には要望箱を設置しています	面会時には、心身の状況を報告すると共に気兼ねなく意見をいってもらえるよう、信頼関係の構築に努めている。相談事は家族から管理者の携帯に頻繁にラインが届くので、通院やケアについての相談等即解決している。面会希望の家族を車で迎えに行くなど、必要に応じて対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営会議や、ミーティングなどにて意見交換を行っている	管理者と職員は日頃よりコミュニケーションが取れ、いつでも相談しやすく自由に意見が言える関係である。ケアの内容や業務内容についても検討し、改善していく体制ができています。管理者が若いこともあり、経験ある職員に耳を傾け一緒に考える機会を設けている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者が管理者の父であるため現場の意見が通りやすく、状況の把握や、スタッフの意見が生かされている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に合った研修の参加や、知識の共有などに努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会への参加、ケアマネ会議など多くの研修会や会議に参加している		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に施設見学時に面談を持ち、本人様の思いを受け止める機会を持つように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	関連施設からの入所が多く以前から信頼関係も出来ていますが、入居時にしっかり説明を行い、また、情報収集に努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	以前のケアマネより情報をいただき、以前の状況や、現在の要望を含め、現状の把握に努めています。また、本人様やご家族様の御希望に重点を置いたケアを実施しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	地域性が強く、また、顔見知りの方もあり、家庭的雰囲気の中で生活されています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様とも常に連絡をとれる関係を築いています 面会時には要望もお聞きし、常にご意見もケアに反映しています		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔のお友達や、近隣の方などの面会があり、面会に来ていただけるような環境づくりに努めています	アセスメントは、センター方式を使用し、「これまでの生活史シート」や「暮らしの情報」「私ができる事、できないことシート」等これまでの本人の暮らしが職員間で共有できるよう丁寧な記録を取っている。把握した情報をケアプランに活かし、馴染みの関係が途切れないように支援をしている。同会社が運営している通所介護や秋祭りに参加することを楽しみにされている。個別のお寺や墓参りには家族の協力を得ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は常に全員の方がフロアにて過ごされ、会話も多く、居室の利用は就寝時だけになっていますので、孤立する方はいません		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要時は相談に応じている		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアマネが情報の把握を行います。スタッフが担当する利用者を持ち、個々の必要情報をミーティングにて共有し介護を行っています	アセスメントに「暮らしの希望」を記入しており、日頃のさりげない会話の中で、把握した内容を共有している。毎日の朝の会でもコミュニケーションをとり、希望に添うよう努めている。利用者ごとに担当制にしており、個別に関わる時間を大切に考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、以前のケアマネから情報の提供を受けると同時に、本人様、ご家族様より情報収集を行っています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ICFによるケアプランを作成し、本人様の状態にあった介護を実践しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要時に担当者会議を行い、常にスタッフ全員で情報の共有に努めている	家族の面会時に、ケアプランに関する相談をし、希望を聞く等事前に情報を得ている。会議時には、管理者、ケアマネジャー、職員担当で話し合っているが、事前に把握した本人の意向が反映された計画の作成に努めている。定期的なモニタリング、評価が行われている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日のスタッフ全員で毎日の記録を行い、個別ケアに役立っている、また、毎日、ケアプランの記録にも努めている(介護計画の検討にも生かしている)		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度、必要時に検討する		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在は生活保護の方の書類提出を行っている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の往診や、家族の通院支援、かかりつけ医との連携等、対応し、必要時は、通院支援も行っている	家族や本人が希望する医療機関への受診が出来ている。協力医療機関より月2回の往診があることで、変更される方も多し。精神科への受診時には、家族と一緒に事業所の看護師が付き添い、情報提供に努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	異常の早期発見に努め、日頃より、連携が取れている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	看護師が常時対応を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りの説明を行い同意を得ている。必要時は医師、家族、スタッフ間の連携を行い体制を整えています	重度化や終末期に向けた指針を作成し、入居時に説明し同意を得ている。開設当時より、家族の希望を受けこれまで10件以上の終末期を見てきた。身体状況の変化に応じ、家族、医師、職員で話し合い事業所で出来る対応をしている。医師の夜間の往診協力があり、本人のみでなく家族や職員の安心になっている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師が応急手当の研修を実施している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月1日に、防災チェックを実施し、年2回の防災訓練を行っている。地域への連携もお願いしている	定期的に消防署の指導を受け、災害時の避難訓練をしている。地域から区長、民生委員等の協力を受けている。事業所は日頃から地域と密着した関係を構築しており、非常の際には近隣から駆けつけてくれる体制がとられている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇研修を受け学び、人格の尊重に努めている	理念に「利用者の人権を尊重し、権利を守ります。」と掲げているように、管理者は日頃より接遇に関して職員へ伝え、理解を得ている。広域の接遇の研修に参加し、職員は互いに注意し合い、質の向上を目指している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	家庭的環境作りを心がけ、話しやすい雰囲気作りに努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設行事を行う中で、個別性も念頭に於いた対応を心がけています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様の思いを受け止めるように対応しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみという方が多く、「何時も美味しいね」との言葉も聞かれています。また、食事の準備も、出来る事はして頂いています	食事の準備は冷蔵庫を開けてから材料を見て、今日のメニューを利用者と共に考えることから始まる。料理の下拵え、後片づけ、食器洗いなど利用者ができることを、活き活きと出来るよう支援している。職員も同じ食事を一緒に食べ、おしゃべりしながら楽しい雰囲気となるよう配慮している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿食、キザミ食、お粥、水分量等常に考慮して個別対応をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に全員口腔ケアを実施しています		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	要介護5の方以外は日中は布パンツを使用されています。夜間のみリハビリパンツの方も2名のみで、出来るだけ長く、布パンツで生活できるように支援し時間誘導を実施しています	排泄の自立支援については、事業所が最も力を入れている点であり、日中は個々の排泄チェック表によるトイレ誘導に努めている。オムツ使用されている方が誘導により布パンツで可能になり、下肢の動きや表情も良くなるなど職員が意識しており、やりがいも感じている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方の対応も個々に合った方法を実施しています。運動や水分、繊維食品、ヨーグルト、必要時は便秘薬、座薬、浣腸等症状に応じ対応しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現在は週3回の入浴を実施。必要時はシャワー浴等実施している	基本は週3回入浴してもらっているが、希望があれば毎日でも入浴することが出来る。その時の希望により本人のペースで入られている。入浴を断られる時には誘導を工夫したり、職員が変わるなどしてなるべく入ってもらう。同性介護にも配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に合った対応をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が管理し準備しているが、薬の情報を一人一人のカルテに添付し、スタッフ全員で把握できるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	介護計画にて把握し、常にその人らしさを念頭に於き介護している		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や、関連施設の行事への参加など、外出の機会を作っている。また、家族と共に外出の機会を支援している	近隣には長閑な田園が広がり、季節に応じ、散歩や地域の行事に参加するなど、地域住民とのふれあいを大切にしている。花見やドライブ等定期的に計画し、利用者の希望でうどんを食べに行くなど気分転換に外食も出かけている。お寺参りなど、個別の希望は家族の協力を得ている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは施設預かりとなっておりますが必要時は、スタッフや家族が買いものをしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要時は支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアで過ごされる時間が多く、常に環境整備に努めています	ソファやテーブル等家具には生活感があり、明るいリビングでおしゃべりしたり、趣味の手芸を楽しまれている。室温や湿度の管理も行われ快適な環境である。行事の作品等掲示がされ季節感が感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人が、なんとなく自分の居場所を作られたり、気の合う人の側に座られたりと、自由に生活されています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの家具を持っていただいています	入居時に本人が使い慣れた家具等の持ち込みをお願いしており、タンス、椅子、などをそれぞれ持参されている。余暇活動で作成したぬり絵や家族の写真等を飾り、それぞれに個性が感じられる居室である。寝具も持参していただいている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	長く生活されている方で、眼が見えなくなっても、トイレなどの位置関係が判り一人で移動されています		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない